

日時・場所	平成28年12月5日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- ・ 土曜日にびわ湖若鮎駅伝大会が開催された。今年で4回目となり、参加者は増えている。日曜日には市卓球協会主催の卓球大会が開催され、265人が参加された。もともとは市内の大会であったが、徐々に広がり、県内の中学生も参加している。びわ湖若鮎駅伝大会と併せ、非常に良い形で実施されている取組である。さらに、日曜日はフォーラム野洲も開催された。ただ、せっかく様々な催しが実施され、可能な限り宣伝もされているが、市民との情報の共有化がまだまだ不十分であるため、積極的な情報発信に努めること。18日には全国中学校駅伝大会が開催される。全国トップレベルの選手が出場し、身近なところで素晴らしい競技を観戦することができる良い機会である。テレビで放映されるものだけに注目するのではなく、積極的に市民との情報の共有化に努めること。
- ・ 日々の仕事をしっかり進めることは当然だが、課題を見据えて、どういう枠組みで解決していくのかという構想力を持つこと。課題が生じた場合に、どの法令や制度を適用するかを考えることは大事だが、それに留まらず、法令や制度がない場合でも、それを解決するためにどのような仕組みや資源を活用したらよいかなど、構想力を持つことが重要である。既存の制度を適用することと、既存の制度を組み合わせたり、既存の社会資源を一層活用したり、さらには新しい制度をつくったりすることは段階が違う。それはまさに構想力であり、それを意識した仕事を進めること。
- ・ 先週、議会の正副議長が来られて、議会における一般質問の答弁時間を30分にしてほしいという要請があった。一問一答で細かく質問されたことに対し答弁するにあたり、質問時間と同じ30分間で答弁できるはずがなく、「羽をもぎ取って飛べ」と言われているようなものであり、承服しかねると回答した。  
また、反問制度について、答弁者ごとに2問までとしてほしいとの要請もあった。反問制度はもともとは回数の制限はなかったが、ある段階から、質問者に対して2回となった。2回であれば質問者に対しまとめて何問でも質問できるが、要請は質問者は複数にわたるが反問は2問にしてほしいとのことであり意味が分からない。一般質問は通常予備日を含めて3日間の予定であるが、2日間で終わっており、時間短縮を進める必要があるのか疑問である。市民からは、現在のルールでも、もっと反問してほしいのに中途半端な反問で終わっていると言われている。そもそも、従来の議会のやり取りは、質問や答弁は原稿を読むだけのスタイルとなっており、対話型にするために一問一答や反問が導入された。それにもかかわらず、後退した要請をされており、これは議会の危機ともいえる。情報の共有化をしておく。

## 2. 報告事項

### ① 野洲市総合体育館温水プール臨時休館について

〔所管： 教育委員会〕

野洲市総合体育館の温水プールにおいて、天井部材が一部落下したことから内部で応急対策等を検討したが、利用者の安全を確保できないおそれがあるため、平成28年12月1日（木）から当分の間、臨時休館とする。今後は専門家である建築士等の調査又は意見等を求める予定であり、その結果を踏まえて対応策を検討する。このことは11月29日に公表済みである。なお、12月から3月まで休館した間の支出であるが、使用料や受講料等の還付等で約2,860万円、施設管理委託料、燃料費、上下水道費等で約2,300万、合計約5,000万円程度の支出が発生すると試算している。また現在、管理委託契約期間が平成27年4月1日から平成32年3月31日となっており、補修工事が遅れたり、休館期間が延びたりした場合、委託料のあり方について、弁護士と相談する。

→施工や管理上の瑕疵がなかったか、施設の耐用年数、委託契約や財政的な問題等、想定される課題を整理しておくこと。

### ② 第10次野洲市交通安全計画（案）に係るパブリックコメントの結果について

〔所管： 市民部〕

パブリックコメントを実施したが、意見はなかった。今後は、12月19日の第2回野洲市交通安全対策会議において諮り、平成29年1月に本計画を策定・公表する予定である。

### 3. 協議事項 なし

### 4. その他伝達事項

- ・平成29年度の組織体制に関する各部の意見集約について、すでに各部長に通知しているが、12月21日（水）に各部ヒアリングを実施するので、各部局内で整理・調整願う。
- ・市長の指示事項にもあったように、一般質問と反問のあり方について、正副議長から市長への要請があったが、市長から承服しかねるとの回答があったので、議会としてはそれを受け止め、一定の整理をしていくこととされた。また、総括質問の場合は分割方式を選択できるようにすることを今回の議会から試行される。
- ・国直轄事業（国交省）として、観光立国や地方創生の実現に向け、国道8号の交差点おける交差点名標識に観光地の名称を表示する事業があり、市の観光振興策のひとつとして提案・申請する。現在のところ、6か所を検討しており、まずは国道8号の「三上」交差点を「三上山登山口」という名称で申請する予定である。
- ・農林水産省・林野庁より「レクリエーションの森」事業（全国で100箇所程度）として、三上山で実施したい旨の提案があった。国直轄事業では、看板・標識の整備等、また、協議会の設置により、農村漁村振興交付金（ソフト事業:10/10、ハード事業:1/2）があり、観光振興策として進めていく。
- ・野洲クリーンセンターについて、ばいじん処理物の安全が確認できたことから、平成28年11月28日付けで大阪湾広域臨海環境整備センターの搬入停止が解除され、翌29日に通知を受領した。12月1日から搬入を再開する。
- ・総合調整会議における「野洲市開発行為等に関する指導の強化について」は、開発行為等に関する指導要綱は法的な縛りはないものの、最終的に要綱の手続きが完了（完結）していない事案があり、最後まで手続きを完了（完結）していただくといった指導を強化する趣旨であるが、現状、課題、解決策について再度整理する。その上で再度庁議に付議し、次回の全員協議会に提出する。
- ・昨日、野洲駅南口のエレベーターが2回にわたって停止した。原因は機能の一部に異常が発生したことによるものである。利用者が閉じ込められる事態には至らなかった。現在は正常に運転している。
- ・12月3日から9日まで障害者週間に位置付けられており、本日朝から、野洲市障がい者虐待防止連絡協議会や関係する障がい者団体等による駅頭啓発が行われた。障害者週間の周知と併せ、報告する。

### 5. 次回部長会議

12月12日（月） 15時～ 庁議室